



令和4年2月2日

記者説明会（2月10日（木）13時30分・霞キャンパス）のご案内

**【クラウドファンディング公開のご案内】
広島大学医療系クラウドファンディング
3件同時公開について**

情報提供

「広島大学クラウドファンディング」（READYFOR 株式会社 提携）として、以下のプロジェクト3件のプロジェクトが同時公開となります。

「卵巣がんにおける AI を用いた新しい診断・治療効果予測システムの構築」
（公開期間：2月10日～3月31日 第一目標額：200万円）

「ゲノム医療が安心して受けられるために、遺伝カウンセラーの養成を」
（公開期間：2月10日～3月31日 第一目標額：300万円）

「肺繊維症・肝硬変など、繊維化による病気に対する治療薬開発を進めたい」
（公開期間：2月10日～3月31日 第一目標額：300万円）

これに伴い、記者説明会を下記のとおり開催いたします。
ご多忙とは存じますが、ぜひご出席いただきますようご案内いたします。

記

【日時】 令和4年2月10日（木）13時30分～14時30分
（13時から受付）

【場所】 広島大学霞キャンパス臨床管理棟 3階大会議室
（広島市南区霞 1-2-3）

【出席者】 広島大学大学院 医系科学研究科 産科婦人科学 教授 工藤 美樹
広島大学病院 遺伝子診療科 教授 檜井 孝夫
広島大学トランスレオムカサセンター 共同研究講座教授 横崎 恭之

【プロジェクト概要】 別添をご覧ください

【お問い合わせ先】

広島大学 基金室 木本
TEL:082-424-4435
E-mail: soumu-koyu@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版5枚（本票含む）

<プレスリリース>

2022年2月10日
広島大学

「広島大学×READYFOR」にて
広島大学が、新たに3件のプロジェクトを同時公開！
-医療研究分野の新たな一歩を広島大学から生み出す-

国立大学法人広島大学は、業務提携を行っている日本初・国内最大級のクラウドファンディングサービス「READYFOR」を運営するREADYFOR株式会社と実施中のクラウドファンディングプログラム「広島大学×READYFOR」(<https://readyfor.jp/pp/hu>)にて、以下3件の新たなプロジェクトを同時公開しました。これらのプロジェクトを通して医療研究・中国地方のさらなる活性化を目指して参ります。



■クラウドファンディングプロジェクト概要

①卵巣がんにおけるAIを用いた新しい診断・治療効果予測システムの構築

- ・実行者: 古宇 家正 (広島大学 大学院医系科学研究科 産科婦人科学講座 講師)
- ・URL: <https://readyfor.jp/projects/ransouganaisystem>
- ・目標金額: 600万円 (第一目標: 200万円)
- ・募集期間: 2022年2月10日(木)～3月31日(木)23時 49日間
- ・資金使途: 卵巣がんの個別化医療に向けて、CTやMRIなどの医療画像から“がんの性格”を説明できる、新たな人工知能 (AI) 診断・治療予測システムの構築に向けた研究費用
- ・形式: 寄付型 / All or Nothing形式

※All or Nothing形式は、期間内に集まった支援総額が目標金額に到達した場合にのみ、実行者が支援金を受け取れる仕組みです。

- ・プロジェクト内容:

卵巣がんは進行してから見つかることが多いため、女性生殖器の悪性腫瘍(がん)の中で、最も生存率が低い病気です。将来、患者さんの生存率を高めるためには、一人ひとりに応じて最適な治療法を提案する「個別化医療」が欠かせません。

今回のプロジェクトでは、診断・治療予測が困難である卵巣がんを対象にして、未だ確立されていない「医療画像から“がんの性格”を説明できる、人工知能(AI)を用いた新しい診断・治療予測システムの構築」に挑戦します。

手術前に撮影した卵巣がん画像のAI解析に、「遺伝子的特徴」を追加する事によって、より深い解析を可能にします。さらに、第一目標金額達成後にいただくご寄付については、手術により摘出された同一がんの生物学的解析を追加する事によって、AIが捉えた画像の特徴と“がんの性格”(生物学的・遺伝子的特徴)との関係性を明らかにしていくことを目指しています。

②ゲノム医療が安心して受けられるために、遺伝カウンセラーの養成を

・実行者: 檜井 孝夫(広島大学 大学病院 遺伝子診療科 教授)

・URL: <https://readyfor.jp/projects/genetic-counseling>

・目標金額: 600万円(第一目標: 300万円)

・募集期間: 2022年2月10日(木)~3月31日(木)23時 49日間

・資金使途: 国際的にも活躍できる遺伝カウンセラーの養成費用

・形式: 寄付型 / All or Nothing形式

・プロジェクト内容:

一人一人の体質や病状に合わせて治療などを行うがんゲノム医療に携わり、広島大学病院遺伝子診療科で働くようになったことを機に、遺伝子診療の領域では、遺伝子診療を専門的な知識とカウンセリングによってサポートしてくれる「遺伝カウンセラー」を育成していくことの必要性を痛感するようになりました。

そこで広島大学大学院に認定遺伝カウンセラー養成コースを立ち上げて、これからの遺伝子診療を支えていく人材の育成に取り組んでいます。広島県には認定遺伝カウンセラーが1人しかおらずまだまだ人数が足りません。

遺伝カウンセリング先進国であるアメリカのプログラムを学び、日本そして海外においても活躍できる遺伝カウンセラーの教育を目指します。

③肺線維症・肝硬変など、線維化による病気に対する治療薬開発を進めたい

・実行者: 横崎 恭之(広島大学 トランスレーショナルリサーチセンター 共同研究講座教授)

・URL: <https://readyfor.jp/projects/integrin>

・目標金額: 1,000万円(第一目標: 300万円)

・募集期間: 2022年2月10日(木)~3月31日(木)23時 49日間

・資金使途: 肺線維症に対する、インテグリン抗体を用いた治療薬の研究開発費用

・形式: 寄付型 / All or Nothing形式

・プロジェクト内容:

「肺線維症」と「肝硬変」は、全く異なる臓器で生じる病気ですが、いずれも体内にもともと備わっている修復の仕組みが暴走して引き起こされる「線維化」が共通の原因です。しかし、これらの病気の原因となる線維化の進行を根本的に止めることができる薬は、現時点で存在していません。

広島大学 トランスレーショナルリサーチセンター インテグリン-マトリクス治療科学講座では、20年という長い時間をかけた研究で、線維化の原因となる細胞接着分子、特定のインテグリンに対する「抗体」を作り出し、線維化が原因となる病に対する治療薬の開発をめざした研究を進めています。新たな治療薬の開発を進めるためには、特に資金面において、大学の研究室だけで全てをまかなうことは困難であり、治療薬開発への歩みを進めるために今回のクラウドファンディングへの挑戦を決意しました。将来的には、現時点では存在しない「肺線維症を直接改善できる薬」を多くの患者さんへ届けることを目指しています。



■取材・報道に関するお問い合わせ先

①卵巣がんにおけるAIを用いた新しい診断・治療効果予測システムの構築

お問い合わせ先：広島大学大学院医系科学研究科 産科婦人科学 古宇

電話番号：082-257-5262

FAX：082-257-5264

メールアドレス：iemasako@hiroshima-u.ac.jp

②ゲノム医療が安心して受けられるために、遺伝カウンセラーの養成を

お問い合わせ先：広島大学病院 遺伝子診療科 榎井、竹中

電話番号：082-257-2019

メールアドレス：yumitak@hiroshima-u.ac.jp

③肺線維症・肝硬変など、線維化による病気に対する治療薬開発を進めたい

お問い合わせ先：広島大学トランスレーショナルリサーチセンター 横崎

電話番号：082-257-1759

メールアドレス：yokosaki@hiroshima-u.ac.jp

(別紙)

【FAX返信用紙】

FAX：082-424-6040

広島大学財務・総務室広報部 広報グループ 行

記者説明会（2月10日（木）13時30分・霞キャンパス）のご案内

広島大学医療系クラウドファンディング
3件同時公開について

日時：令和4年2月10日（木）13時30分～14時30分

場所：広島大学霞キャンパス 臨床管理棟3階 大会議室

ご出席

ご欠席

出席者：広島大学大学院 医系科学研究科 産科婦人科学 教授 工藤 美樹
広島大学病院 遺伝子診療科 教授 檜井 孝夫
広島大学トランスショナルリサーチセンター 共同研究講座教授 横崎 恭之

貴社名 _____

部署名 _____

ご芳名 _____ (計 名)

電話番号 _____

誠に恐れ入りますが、上記にご記入頂き、2月9日（水）15時まで
にご連絡願います。